

## 山形新聞

# 連載企画 「明日につなぐ 地域医療」 (全6部、42回)



2022年11月14日



(連載開始当時。現在は酒田市を含め13法人に拡大)  
医師会・歯科医師会・薬剤師会の「3師会」がそろうのも、  
精神科専門病院が参加するのも**全国初**

## 日本海ヘルスケアネットの考え方

- 人口減少が著しい地方ですら医療機関が患者や医療人材を奪い、患者獲得のため高額医療器機を持ち合う「不毛な消耗戦」をやめる
- 地域全体で医療・福祉にかかる費用と人材を管理、確保し、各施設が役割分担する

⇓ ⇓ ⇓

将来にわたって医療・介護・福祉の切れ目ないサービスを提供できる体制を構築

「地域全体で黒字にしなければ継続できない」

3

## 連載開始に当たり、県内全病院にアンケート

【県内医療機関アンケート】(実施元・山形新聞社)

病院名: \_\_\_\_\_

所在地: \_\_\_\_\_

1. 貴病院の現状について、以下の項目を教えてください。  
 ※以下、今年4月1日現在  
 ▽病床数: \_\_\_\_\_ 床  
 (内訳: 急性急性期= \_\_\_\_\_ 床 慢性期= \_\_\_\_\_ 地域包括  
 病院= \_\_\_\_\_ 総合ケア= \_\_\_\_\_ )  
 ▽診療科目: \_\_\_\_\_  
 ▽看護師数: \_\_\_\_\_ 人 (内訳: 常勤= \_\_\_\_\_ 人、非常勤  
 内訳: 正職員= \_\_\_\_\_ 人、会計年度任用職員  
 ▽貴病院としての診療所・サテライトを有している場合は

※以下、2020年度と2019年度、小数点以下第1位まで  
 ▽経べ患者数: 2020年度 外来= \_\_\_\_\_ 人、入院= \_\_\_\_\_ 人、2019年度 外来= \_\_\_\_\_ 人、入院= \_\_\_\_\_ 人  
 ▽外来診療日数: 2020年度= \_\_\_\_\_ 日、2019年度= \_\_\_\_\_ 日  
 ▽平均病床利用率: 2020年度= \_\_\_\_\_ %、2019年度= \_\_\_\_\_ %  
 (1日平均入院患者数×100÷各年度3月31日現在)  
 ▽平均入院日数: 2020年度= \_\_\_\_\_ 日、2019年度= \_\_\_\_\_ 日

2. 現在、貴病院が抱えている課題を教えてください。  
 (選択肢に○、複数回答可)  
 ① 医師の確保 ② 看護師の確保 ③ その他医療スタッフの確保  
 ④ 経営の安定化 ⑤ 病院の診療科目 ⑥ 地域内での医療連携  
 ○①~④と答えた場合 ⑤⑥と答えた場合  
 ▽それぞれ、不足している人数はどのくらいですか?  
 (医師= \_\_\_\_\_ 人、看護師= \_\_\_\_\_ 人)  
 ▽不足している原因は何か? \_\_\_\_\_

3. 貴病院の経営状況について、以下の項目を教えてください。  
 ▽医療収支(医療収益-運営費用): 2020年度= \_\_\_\_\_ 円、2019年度= \_\_\_\_\_ 円  
 ▽国、県、市町村からの補助金額合計 \_\_\_\_\_ 円  
 ▽病院経営に人口減少の影響はあり \_\_\_\_\_  
 ②のあると答えた場合、どのよう? \_\_\_\_\_  
 ▽収入減や赤字が続いている状況 \_\_\_\_\_

4. 過去10年間で、診療科の廃止  
 ① 行っていない  
 ② 行った(具体的な内容) \_\_\_\_\_  
 ▽今後予定があれば、 \_\_\_\_\_

5. 地域医療連携について  
 ▽現在、県内、ま: \_\_\_\_\_  
 ▽他病院との連携  
 ① 考えている \_\_\_\_\_  
 ▽貴病院が \_\_\_\_\_  
 ① ある \_\_\_\_\_

4

## 全病院へのアンケート

### 【調査項目】

- 病院の経営状況、病床・機能再編の実績
- 他病院との再編統合への考え方 など

### 【結果】

- 医業収益は回答病院の71%が赤字  
単年度で44億円の赤字も

↓ ↓ ↓

「病院の経営改善は国民負担をこれ以上重くしないためにも必要」

5

## 先進例の「日本海ヘルスケアネット」

酒田地域内の医療、福祉関連機関をほぼ網羅、  
医療の先の介護までを見通して連携

### 【取り組み事例】

- 役割分担の徹底で慢性人工透析患者を1病院に集中、黒字化に成功
- 医薬品を有効性・安全性・経済性の観点で選択し、地域全体で購入、使用、管理する「地域フォーミュラリ」(全国初)
- 新型コロナ感染の病院クラスターで感染症の専門知識・技術のある人材を発生病院に派遣、物資も支援し、死者を出さずに2週間で収束

6

## 医療体制維持が困難な過疎地域も

### 【県内4地域の一つ・最上地域】

- 大阪府や香川県とほぼ同じ面積ながら人口は7万人を切る。
- 分娩できる医療機関は1カ所のみ

### 【ほかの地域でも】

- 週に数回、人工透析のため、車で往復2時間超の病院に通わなければならない町
- 医師が1人しかいない村

7

## 日本海ヘルスケアネットの先進的取り組み



### 山形県内の課題

対比するように掲載する中で地域内の  
医療連携、役割分担の重要性が浮き彫りに



8

宮城県は仙台圏(6市7町1村)での4病院の統合・合築案を2021年9月公示した。21年10月の宮城県知事選では現職の村井龍浩知事が統合・合築案を1面から続く

## 明日につなぐ 地域医療

本県から探る在り方

第4部 連携の課題と新たな可能性 ③ 病院再編

本県の首長は、地域内での医療供給体制の再編、病院統合は「総論は進まない」と漏らす。まずは首長による意見の場を設けるのも、の策だ。同じ県内では、仙台圏の4病院の再編、病院統合は「総論は進まない」と漏らす。まずは首長による意見の場を設けるのも、の策だ。同じ県内では、仙台圏の4病院の再編、病院統合は「総論は進まない」と漏らす。まずは首長による意見の場を設けるのも、の策だ。

# 欠かせない政治判断

- ・「再編統合が必要」の総論には賛成
- ・しかし、身近な病院がなくなる、縮小する各論には反対

↓ ↓ ↓  
結果、再編協議は進まず

具体的な地域で、関係市町の首長、音頭を取るべき県に問う

↓ ↓ ↓

- ・議論と政治判断の必要性を指摘

9

## 【基幹病院・開業医・介護施設の連携】

- ・救命救急や難しい手術に対応する急性期病院が急性期機能を維持するには、その先の転院を受け入れる慢性期病院や介護施設、開業医が元気であり続けることも重要
- ・開業医、慢性期病院、介護施設の持続性が、基幹病院の維持に直結している



10

## 【このほかのテーマ】

- ・新しい連携の形の提案
- ・人材不足対策
- ・医療DXの必要性
- ・在宅医療、自宅で最期を迎えるみとり



## 【記事掲載の成果】

- ・医療介護供給体制再構築が喫緊の課題との認識が広まり、県議会・地方議会でも取り上げられた。
- ・具体的に病院再編の必要性を指摘した地域では、水面下で再編協議に向けた動きも
- ・先進例として取り上げた「日本海ヘルスケアネット」への参加を後押し

同ネットへの参加法人：昨年10月は10

現在は13に

# 明日につなぐ 地域医療

本県から探る在り方

即興の世代が高齢化  
上の高齢者にならぬ  
25年が目前に迫っている

がこれ以上、自然減少し、益地院の医療体制を維持して  
てから、国・自治体財政、きまひに、自立型施設として  
は、将来にわたって医療、医療の役割分担、医療は、  
介護付有料老人ホーム、介護付有料老人ホーム、介護付  
定額診療を進んでいる。医療、医療の役割分担、医療の

## 鍵握る 県民の選択

### 第6部 未来を見据え 5 病床・病院の再編統合

る。本県人口は100万人以下になる。の統合とまとめるは純  
をのうとしており、問題、不満を感じる高齢者も、県内の病院の  
を先取りするほど、状況は、おられる方が、病院を、県内の  
悪化する。医療機関、人材、再編し、機能分担しないと、来  
必要と供給体制つ、してい、と受けた。

- ・山形県の人口は100万人以下に
- ・問題を放置するほど状況は悪化
- ・病院再編統合は地域づくりと合わせて考えなければならない
- ・政治判断がなければできない。つまり有権者の理解が不可欠

「負の遺産を残すのか、未来に続く医療体制を残すのかは県民の選択」



(「日本海ヘルスケアネット」加入法人の代表者たち(2022年8月)

国や制度のせいにはしない  
「地方だから」と諦めない  
自分たちの力で改革



地方紙は地域づくりに責任がある

The End